

NEWS LETTER

「HOME18岡山」はこんな場です

18トリソミーのお子さんと、そのご家族のための任意団体です。

♥ ブログ: <https://home18okayama.hatenablog.com> ♥

18トリソミーは代表的な染色体異常症候群の一つですが、治療方針の判断が難しいことなどから、家族を含め関わる全ての人に「生きること」について考えさせる疾患と言えます。

診断を受けたご家族の思いに耳を傾け、家族間、医療・福祉の現場、地域社会との橋渡しとなる場を作りたいと思っています。

現在、当事者同士のつながりは、時節柄SNSでの情報交換が中心となっていますが、今後は感染症対策を行いつつできる限り「直接顔を合わせる」ことを目標にしていきます。右の写真はコロナ禍前の当事者同士の懇親会のようすです。

そして、当事者だけでなく、地域社会の一人でも多くの方に知っていただくことが、患者と周囲の人々の幸せにつながるように思いますので、少しずつ、ゆっくり、いろいろな人に関心を持っていただけるように、読書会などの活動をしていきます。なお、2020～2021年度は、福武教育文化助成を受けて活動しています。

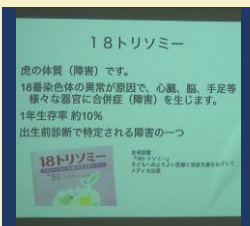


「虎先生」による清心女子高校の授業

『うまれる』上映会→講演・対話の会

2021年2月2日に映画『うまれる』の上映会を行いました。翌週の9日には、映画に出演されている18トリソミーの虎大くんご家族(東京都)とノートルダム清心学園 清心女子高等学校(岡山県倉敷市)3年A組の教室とをオンラインで接続し、講演と対話の会を開きました。

卒業を目前にひかえた生徒一人ひとりが、このドキュメンタリー映画に込められたメッセージを受けとめ、「いのち」「うまれること」「家族」について真剣に考えました。そして虎大くんとお母さんお父さんへの質問をお送りし、それにオンラインで答えていただくという豊かな講演・対話の時間を通して、「人と寄り添って生きること」「多様な人とともに生きること」の幸せを感じることができました。



ヨノナカ実習室との「てんでまんで読書会」



「てんでまんで」とは「何か決まったことをするとき、みんながそれぞれ自由にする」意味の岡山弁。「生きる」という他人ごとではない深いテーマについて、まじめに、とはいえず少し肩の力を抜いての対話の場。2021年3月20日に実施予定の第2回は、アーノルド・ローベル作 三木卓訳『ぼくのおじさん』を手掛かりに、みんながそれぞれ自由に考えます。案内人は、ヨノナカ実習室のスマカオリ(「HOME18岡山」副代表)です。左は第1回の参加者フジタマユさんによるイラストです。

ご寄付のご案内

ゆうちょ銀行の下記口座まで



この度は「HOME18岡山」に興味を持っていただきありがとうございます。「HOME18岡山」は2019年に立ち上げたばかりのまだ若い会ですが、「18トリソミー」と「岡山」を結び目に、ご縁あってめぐりあった方々とのつながりは、全国に広がっています。私たちはこれからも、いろいろな地域にお住まいのご縁のある方々と、関心を持ってくださった方、医療・福祉に携わる方々、当事者、家族と緩やかにつながりながら、大切な仲間としていっしょに活動していきます。

「HOME18岡山」は「誰にとっても居心地のよい、おうちのような場」でありたいと願っています。そして、仲間との活動を通して「誰もが暮らしやすい社会」を目指します。この活動にご賛同いただけます場合は、下記口座までご寄付いただければ幸いです。

「HOME18岡山」代表 木多希子

ゆうちょ銀行 加入者名：ホームジュウハチオカヤマ
記 号：15470
番 号：37324751

他金融機関からお振込の場合

【店 名】五四八(読み ゴヨンハチ)
【店 番】548
【預金種目】普通預金
【口座番号】3732475